



第3回

鹿児島空港駐車場の混雑緩和等に向けた検討会

- (1) 利用状況及び年末年始の対応について
- (2) 取組の実施計画（骨子案）係る取組状況
- (3) 今後の設備投資に係る進捗状況
- (4) その他



鹿児島空港ビルディング株式会社
KAGOSHIMA AIRPORT BUILDING CO.,LTD

2025年12月18日

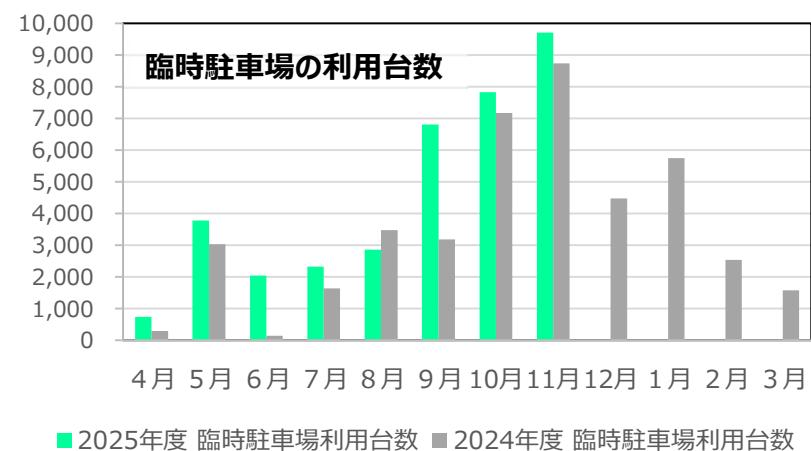
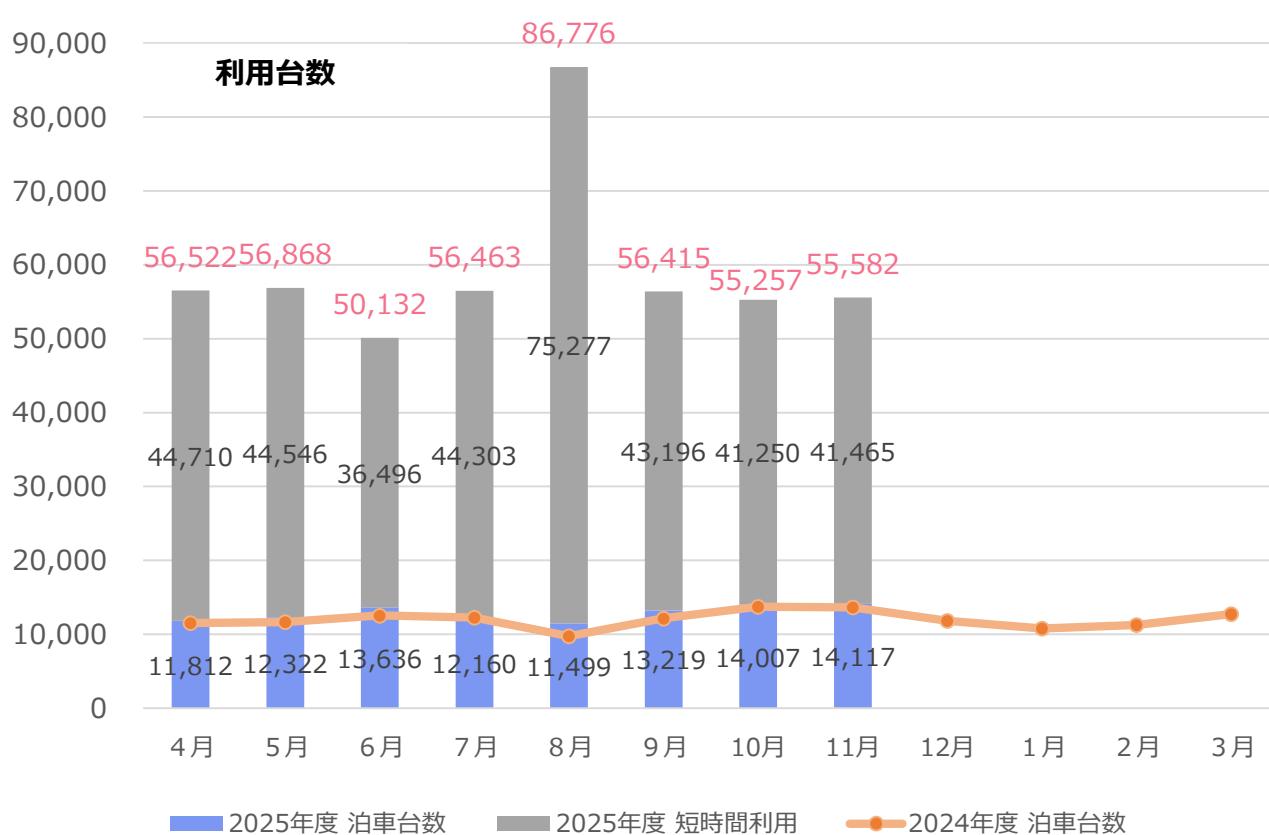
2025(R7)年度の利用状況について

※当社調べ、速報値



- ▼利用台数：11月までの累計では、前年度比99.6%とほぼ横ばい
- ▼泊車台数：11月までの累計では、前年度比105.6%と24時間以上の泊車利用が引き続き増加傾向
- ▼満車日数：泊車利用の増加に伴い、11月までの累計58日（前年度60日）
- ▼臨時駐車場利用台数：社有地（臨時駐車場）を利用した車両は、11月までの累計で前年度比130.3%

	利用台数			泊車台数			満車日数			臨時駐車場利用台数		
	2025年度	2024年度	前年度比	2025年度	2024年度	前年度比	2025年度	2024年度	前年度比	2025年度	2024年度	前年度比
累計 (11月まで)	474,015	475,558	99.6%	102,772	97,313	105.6%	58	60	96.6%	36,120	27,704	130.3%



年末年始における対応



- ▼12月27日（土）～1月4日（日）の出発予約数は前年度比**約100%**（12月11日時点、当社調べ）
- ▼12月26日（金）から送迎等の増加が見込まれ、空港駐車場の混雑が想定される

混雑緩和対策

- ▼引き続き、公共交通機関の利用について積極的な呼びかけ（各メディア、SNSなど）
- ▼空港職員用駐車場の一部（50台⇒**最大約80台分**）を一般車両に開放し、受入可能台数を拡大予定
- ▼警備員をさらに増強し、**1日あたり最大25名**を配置予定
- ▼民間駐車場と連携し、HPやチラシ等で案内を行う



桃色 鹿児島空港駐車場（国有地）

赤線 空港職員用駐車場（社有地含む）

青色 社有地（臨時駐車場用地）

青色 民間駐車場（19か所）

（参照：Google Maps）

混雑緩和等に向けた取組の実施計画（骨子案）係る取組状況と効果



取組事項	具体的な取組事項		取組状況と効果
駐車場の利用状況の実態把握	②より詳細な駐車場の利用実態データ整理・分析		実施済（2025.9） ⇒利用実態に基づいた対応策や料金改定を行う場合のシミュレーションを実施
駐車場内の車両の円滑な誘導、安全確保	③夏期繁忙期対策	臨時駐車場の容量拡大 (整地及び枠線引き)	実施済（2025.5） ⇒11月までの累計では、昨年度より臨時駐車場の利用台数が増加し、空港駐車場の利用台数及び満車日は微減、臨時駐車場の認知度が高まったものと推測
		警備員の増員配置（最大17名/日）	実施済（2025.7～8） ⇒年末年始（2025.12～2026.1）においては、最大25名配置／日
		空港HPでの混雑状況のリアルタイム表示等（夏期繁忙期以降も継続）	実施済（2025.8） ⇒HP駐車場ページのビュー数が2024年10月比158%、混雑予測などに有効に利用されている
	④監視カメラの増設	空き駐車枠を判別し、警備員による円滑な誘導を行うため増設	2025.9～実施 ⇒2025.11一部増設済（屋上）、年内に完了予定（場内）

混雑緩和等に向けた取組の実施計画（骨子案）に係る取組状況と方向性②



取組事項	具体的な取組事項	取組状況	方向性
駐車場内の車両の適正配置	⑤従業員駐車エリアの一般利用への転用促進	<ul style="list-style-type: none"> ▼約350枠（空港職員契約数 約540台以上）を転用する場合に備えて、移転先の一候補地として臨時駐車場の課題等を整理 ▼民間駐車場などの代替候補地の実現性の可否を含めて交渉を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ▼2025年度中は、候補地確保に向けて関係者と調整、交渉（※移転地確保が交渉不調となった場合は、当初検討した臨時駐車場への移転を想定） ▼検討会において、移転の方向性が示されれば、2026年度以降、順次移転が可能 ▼現在の空港職員用駐車エリアからの一般利用者の車両出庫を可能とするため、精算機器更新工事を実施予定
	⑥従業員用としての臨時駐車場の活用		
駐車場料金の見直し	⑦泊車料金の改定	<ul style="list-style-type: none"> ▼より詳細な利用実態データの整理・分析 ▼分析結果から、泊車利用への対応が必要な状況 ▼改定・導入した場合の需要変動等について、複数シミュレーションを行った 	多客期料金に限り、2026年度から改定予定
	⑦多客期料金の導入		<ul style="list-style-type: none"> ▼2026年度からの導入予定 ▼導入に備えて、料金システムの改修を予定
	⑦無料時間帯の改定		多客期料金の導入効果を踏まえて、今後検討予定